

カッティングシートによるサインプレート

「広告美術仕上げ」とは、街でよく見かける店頭看板、道路標識、工事看板等をはじめとし、様々な広告板をつくる仕事です。

対象者
中学
1～3年生

所要時間
120分

材料リスト

- 粘着シート
 - アルファベットシール
 - プレートボード [A4程度]
 - 転着シート
 - 原寸大の用紙 [A4]
- 参加者数分 (予備若干)
- 参加者数分

使用工具リスト

- カッターナイフ
 - 定規 [30cm程度]
 - 筆記用具
 - カッターマット
- 参加者数分

体験した児童・生徒の感想

- 日常的にカッターを使うことがないので、カッティングシートを切る作業自体が難しかったです。
- カッターの力加減が難しく、丸い部分がイビツになり、上手に切れなかったです。
- シートに貼る際、空気が入らないように作業するのが難しかったが、指導員の教えをもらったら、綺麗に貼ることができました。
- 身近で見る看板が、こういう風にして作られていることが分かって、楽しかったです。



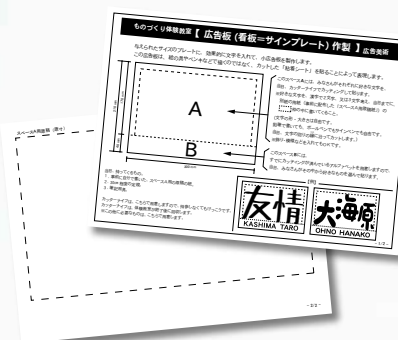
担当教員の感想・要望など

- 自分の手を使って、ものをつくることを体験させたいという思いから、導入に踏み切りました。
- 普段、カッターは使用禁止としているので、生徒がキチンと安全に作業できるか不安がありましたが、適切な使用方法から教えていただき、安全に取り組むことができました。
- 全5職種の中から好きな教室を選ばせているので、生徒自身の興味も高く、作品の仕上がりには、でき具合に関わらず、満足している様子でした。

作業工程の概要

下準備

- 事前に配布した資料（以下の写真参照）に基づき、原寸大の用紙に好きな漢字又は熟語を描き、デザイン原稿を作成します。



加工・作業

- デザイン原稿を粘着シートの上に貼り重ね、上からカッターで手切りカッティングをします。
- カッティング後、必要がない部分を剥がします。
- デザインに沿って、各色又は各文字ともカッティング作業を進めます。



仕上げ

- カッティングが終了した粘着シートに、それを移し取るための転着シートを重ね貼りします。
- 用意されたプレートボード上に、仕上がりを想定した貼り作業用の「トンボ」と呼ぶ位置決め印をつけ、それに合わせて貼りつけます。
- 十分に圧着した後、転着シートを剥がし、周りの汚れをふき取り、最後に上から静電気除去・汚れ防止剤を塗布します。

学校側との事前調整事項等

- 1回の体験には、30名程度の受入れが可能であるとのことでした。
- 下準備の下書きは、参加者に準備してもらいますが、当日では時間内に終わらない可能性が高いことから、事前に準備してもらうことにしました。

⚠ 安全作業上の注意事項

- カッターを使用することから、最初に取扱いについての注意事項を説明します。（特に、カッターを持たない側の手の位置について気をつける等）

指導者からのアドバイスなど

- 日常、あまりカッターを使用していないと事前に聞いていたので、作業の安全を考慮し、カッターの使い方から教えたが、やはり慣れていないため、予想よりも作業時間が長くなりました。
- 普段行わない作業であったこともあり、作品が完成したときには、満足げな表情で喜んでいる生徒達の表情が印象的でした。



協力

- 茨城県技能振興コーナー (029-221-8647)
- 横山 司 (ものづくりマイスター：広告美術仕上げ) / 柴 正義 (ものづくりマイスター：広告美術仕上げ)
- 菅原 亨 (熟練技能者：広告美術仕上げ) / 小野 和則 (熟練技能者：広告美術仕上げ)
- 鹿嶋市立大野中学校 ● 茨城県屋外広告美術協同組合